



学びたい何かがきっと見つかる♪

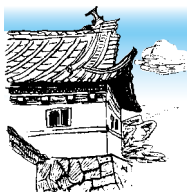
2011春のセンターまつり

開催決定!

毎年恒例、春のセンターまつりが今年も弁天町市民学習センター、阿倍野市民学習センター、難波市民学習センターの3つのセンターで開催されます。各センターで日頃活動している市民グループ・団体による作品展示やステージ発表、一日体験教室が予定されています。日頃、何かを習ってみたいと考えている皆様!ぜひこの機会にご参加下さい。学びたい何かがきっと見つかります♪

会場	プログラム	開催日程	問合せ先
弁天町 市民学習センター	一日体験教室	3月3日(木)～3月9日(水)	TEL : 06-6577-1430 FAX : 06-6577-1433
	作品展示	3月3日(木)～3月9日(水)	
	ステージ発表	3月6日(日)	
阿倍野 市民学習センター	作品展示	3月5日(土)～3月6日(日)	TEL : 06-6634-7951 FAX : 06-6634-7954
	ステージ発表	3月5日(土)～3月6日(日)	
難波 市民学習センター	一日体験教室	3月12日(土)～3月13日(日)	TEL : 06-6643-7010 FAX : 06-6643-7050
	作品展示	3月3日(木)～3月13日(日)	
	ステージ発表	3月13日(日)	

※P8, 9を参照してください。



おおさか歴史探訪 ④3

大阪の史蹟や歴史資料を毎号連続でご紹介します。

お蔭燈籠 —伊勢参詣「お蔭参り」の記念碑—

今年最初の「おおさか歴史探訪」ですので、賑やかな話題でスタートしましょう。

大阪市鶴見区にある阿遅速雄神社に、お蔭燈籠という石燈籠があります。この燈籠は慶応4年(1868)に、伊勢神宮への参詣を記念して建てられたものです。東向きに立ち、正面に「大神宮」、「お可(か)げ」と彫り込まれ、基礎石に寄進者である近隣住人の37名と製作した「松屋町 石工 源助」の名前が刻まれています。

ある年に、突然に、爆発的に流行する伊勢参詣現象を、「お蔭参り」といいます。大阪で多くの人々が関心をもつようになったのは宝永2年(1705)で、その後およそ60年ごとに大流行がありました。伊勢参詣に浮かれた人々が家族や雇い主に無断で参加する「抜参り」が多く、大量の人々が仕事や生活を投げ出して非日常的な「旅」に出るといった無頼的なものでした。19世紀になると、このほかにも「砂持」や「お救い川浚え」が大流行しました。これらは川の土砂をすくい上げ、これを持ち寄り神社造営の際などに境内に敷くというもの。町々で集団で参加し、そろいの衣装を競い合い、鐘や太鼓の鳴り物入りで熱狂的な景気付けをおこなったため、これをあおる見学者を含めて町々は「おお浮かれ、大賑わい」の状況であったといえます。

これらの風習は宗教行事に名を借りた娯楽、遊びであり、寛政の改革(1787～93)にはじまった幕府の儉約令に対する庶民の反発でもありました。

阿遅速雄神社のお蔭燈籠は、当時の世相をうかがうことのできる貴重な文化財といえます。

(大阪市教育委員会 文化財保護担当)

